平成10年9月1日発行第5巻第7号通巻第30号
www.mediagalaxy.co.jp/microdesign/

OUR OPINIONS!

隔月刊

ゲーム批評

さよなら、セガサターン

サターンはなぜ負けたのか
サターンを巡る100の見解
Dreamcastは覇権を握ることができるか
サターンベストゲーム100
第2特集◆徹底！　パズルゲーム大特集！
特別袋とじ企画　ドリームキャスト危ない噂でGOGO!

1998 9月号
定価 780¥

shooting star

平和島ミチロウPRESENTS 第十三弾「メタルブラック」



さて、今回は〝韓国産へっぽこソニックウィングスもどき〟こと「スティッガー1」を紹介しよう……えっ、却下？　チェッ。

それじゃあ「スターソルジャーバニシングアース」を紹介しよう……あ、ゴメンゴメン。そういえば私、ロクヨン持ってないんだわ（笑）。シューティング&格闘ゲーマー（＋アーケード野郎）の私には、正直言って必要ないんですよVロクヨン

そんな私が愛するハード、それはやっぱりセガサターン！……それなのに嗚呼それなのに、「さようなら」だぁなんて随分酷いこと言いやがるなぁVゲーム批評

カルト信者にも似た熱狂的な支持者がいる一方、「オタクマシン」「ギャルゲー専門機」などと揶揄され、実に毀誉褒貶が激しいセガサターンだけど、個人的には凄く好き。むしろ積極的に大好き。なんでかって？それは数多くの名作シューティングゲームが遊べるからに相違ない！

「レイヤーセクション」に始まって、「ダライアス外伝」「メタルブラック」「ストライカーズ1945」「BATSUGUN」「怒首領蜂」「ゲーム天国」「ティンクルスタースプライツ」「蒼穹紅蓮隊」「バトルガレッガ」そして「レイディアント・シルバーガン」……嗚呼なんと良い塩梅なラインナップ！　ありがとうサターン、ありがとうセガ！（大鳥居に向かって敬礼）

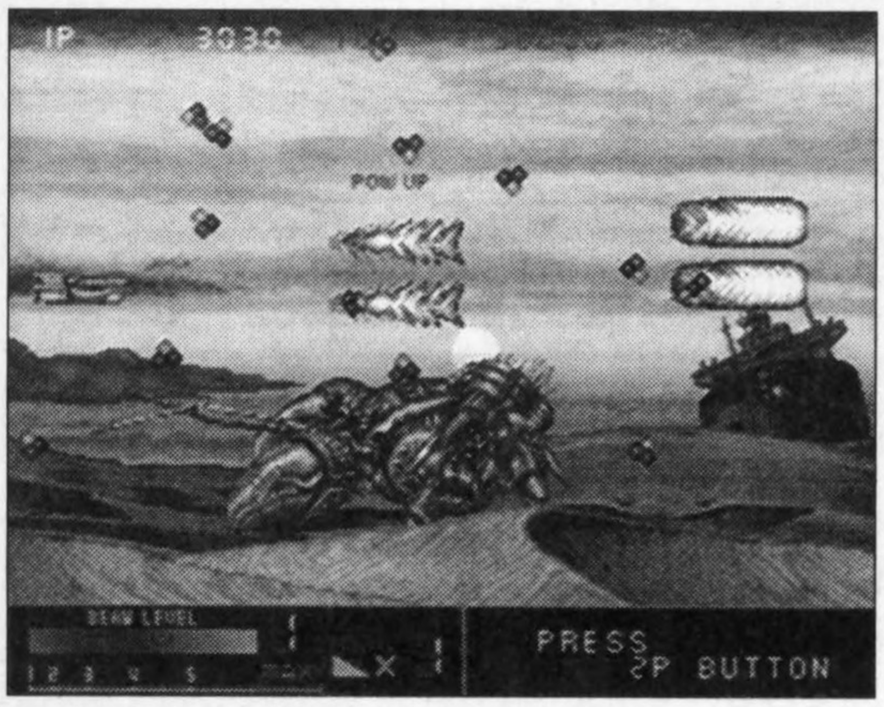
この中で一本ベストを選ぶとすれば、私はやっぱり「メタルブラック」です。私の人生を狂わせたマイ・マスターピース。このゲームのためなら死ねる、ってヤツね。

たった一機の戦闘機で巨大な敵に立ち向かうという希望と絶望が錯綜するストーリー、鮮烈なメッセージをメタファー的に連続照射するビジュアル、虚無感と厭世主義に塗り固められた潤沢な世界観、そしてその世界を補完する精美なサウンド……嗚呼、すべてのファクターが奇跡の時空で素晴らしい。お前の価値は宇宙の重さ、愛してやまぬぜメタルブラック！（慟哭そして永久凍結）

シューティングゲームとしてはイマイチ遊べないかもしれないけれど、映画で言うならばA・ホドロフスキーやD・リンチ、D・クローネンバーグ監督作品のように、娯楽作品ではなく芸術作品として評価されるべきゲームです（ホントか？）。

というわけで、この不朽の名作にまだ触れたことがない人は、先頃「サタコレ」として廉価再発売されたので買うとよろしいでしょう。

あ、ちなみに、「シレン」が出たら買うので、許してねVロクヨン



戦闘準備完了。僕らは、もう、引き返せない。

平和島ミチロウ（へいわじま・みちろう）
ゲームライター兼エセ詩人。宇宙一「鋼鉄霊域（スティールダム）」が上手い男（自称）。チャレンジャー募集中。
www01.u-page.so-net.ne.jp/ya2/michirou

ANIME アニメがすごい!?

第七回……「Iain」

通信ゲームって好きですか？私は苦手で。某通信RPGをやらされたとき、最初のうちは吐き気がしそうになった。画面に現れるのは文字だけなのに、線の向こうに知らない相手がいると思うと、どうも駄目。同様に電話もイヤ。やっぱ顔見ないとダメダメ。こんな人間、私だけだと思うが。

さて、今回のアニメは『Iain』。「人は何かとつながっている」をテーマに、今より少しだけ通信が発達した近未来のネットコミュニケーションを描いている。玲音（れいん）は中学校2年生の内向的な少女。自殺したはずの同級生からメールが届いたとき、普通の生活とネットの向こうの世界・ワイヤードが混ざりあっていく。

展開は難解かつスロー。現実に玲音の妄想（ワイヤード）が入り込み、一種独特のテンポを醸し出

メタルブラック（サタコレ）[STG]　メーカー：ビング／機種：セガサターン／価格：¥2,800／発売日：'98年7月30日

エロの星★の名の下に

南敏久

THE NEXT GENERATION

第6話 きわめて! スキャンダル!?

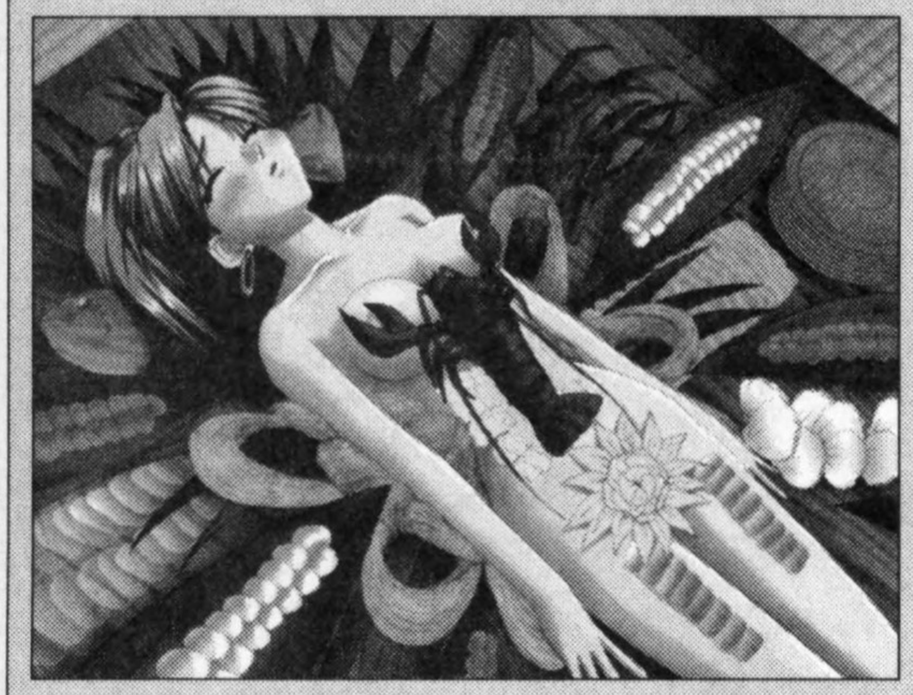
ジャンル：SLG／メーカー：イメージクラブ／
機種：WIN95／発売日：'98年6月19日

ついこないだ小野サンがルソン島送りになったと思ったら、今度は日野さんが編集長の相次ぐ逆セクハラ攻勢に体を壊して転地療養することになってしまいました。この連載は呪われているのでしょうか？　そんなわけで今回からの新パートナーは小野塚サンです。はたして彼の身には一体何が起きるのでしょう？

不景気だ何だと言われて久しいこの国ですが、ちょっと前までは連日連夜ウハウハゴックンしていてもガッポガッポ儲かってしまう夢のような時期がありました。いわゆる「バブル経済」ですな。今回紹介するゲームはそんな時代もあったネとノスタルジーに浸る社長シミュレーション、

「きわめて！　スキャンダル!?」

であります。リッチー建設社長の愛人の子、シャチ男君は事故で入院した父の代理として3カ月間、社長を務めることになります。普段は朝礼や現場で社員にハッパをかけたり、政治家や取引先との接待漬けの日々を送るのですが、すわ一大事！　となると「私を夜の闇に包め！」と秘書に命じ、社長室裏のエロ部屋で女性社員に「教育」と称したバイブ責めやフェラ奉仕を強要します。あげくの果ては取引先の銀行員や下請け町工場の人妻、ゴルフのレッスンプロにまで手を出す始末。これでお金は使い放題だってんだから何とも気楽な商売です。とはいうものの、こんな事を続けていれば社内の雰囲気は最悪。いかに女のコ達の愛情度や服従度を上げようと、副社長は子会社と組んで不穏な動きを見せるし、部長は不倫でヤクザに脅されてるし、課長は日々セクハラに励む（彼はその後スマキにされて東京湾へ……）し、首脳陣はもうバラバラ。代理社長のシャチ男君は八月の会議で見事解任。日本の経済が傾いたのも何だかわかるような気がします。と、ここまでプレイしてサラリーマンも大変だねとのほほんとしていた南サンに急告！　なんと今度はオイラの務める会社（？）が大ピンチ。まさかこの連載の呪いが筆者の方に回ってくるとは！　もうゲームなんかやってる場合じゃないズラ（静岡弁）！　そんな訳で次号のこのコーナー、あるのかどうか全くわかりません。ドキドキするなあ。



女体盛り。これを発明した人と固い握手を交わしたい。

南敏久（みなみ・としひさ）……造形助手（危ない）＆怪獣博士。この文章を書いている時点で未だ出ていないゲーム批評のバイオ本ですが、南サンは学生時代に『ゾンビくん』という短編映画を撮りました。女の人の手足を鎖で縛ったりしています。



玲音。私服は何故かいつでもクマちゃんルック。怖い。

しかし、『ｌａｉｎ』には妙に引き込まれる魅力がある。演出が特異なのだ。延々と続く電線、収縮・拡大する瞳孔のアップ、あとクマちゃんグッズ（笑）。コミュニケーション不全と接続されることの恐怖というテーマにそって、回を進めるごとに特異な演出が増えてきているので、今後の展開が楽しみだ。とりあえず切れのある音楽と映像にのせられたオープニングだけでも必見かと。かの『Ｎｏ．ｅｌ』スタッフによるゲーム化も進行しているようだ。ゲーム内容が想像出来ませんが。

（編集部　松平）

serial experiments　lain　テレビ東京系毎週月曜深夜25:15～25:45

©1998 Triangle Staff／PIONEER LDC